

# 協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.100



# 3月

発行 / 公益社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp

URL : http://www.kankou-fa.jp

2015年3月1日

## 平成27年度を迎えるにあたって

副会長 山方茂利

福岡空港より地下鉄さらにバスに乗り換え、生まれ育った古里に何故か呼び戻される様で、今年に入り2度目の帰郷をしました。

子供の頃裏山(250m)の中腹にある観音堂の石段から眼下に見えた田や畑、その先にキラキラと輝いていた博多湾も既に見えなくなっていた。地域の若い人は田舎を離れ過疎化した稲作用の田は花卉栽培のビニールハウスに変わり、野菜や果物畑は耕す人も減少し孟宗竹に侵食され、雑木林化し懐かしい古里の景色は様変わりしていた。しかし百年一日のごとく流れる小川の水は清く、水辺のクレソン、芹の青さは昔のままでした。

“高い所は取る事が出来んけん、蜜柑はカラスが食い漁るし、まだ姿を見せない竹の子を人様より早く猪が掘り荒らす”と嘆きながらも、朝早くから畑に出て種を蒔き、水をやり、草をとり、丹精を込めて野菜を作り依頼された顧客に卸す他は近所の家、親戚に配る。天気の良い悪しに係らず、押し寄せてくる小鳥に餌を与え犬との会話を楽しみながら散歩する兄夫婦の“田舎が一番よかあ”の言葉が今にして解ります。

我が家から近い海沿いには大きなレストランが出来、透き通った青い海には養殖の牡蠣や魚の筏が冬の海に列をなし、大型海釣り公園にも週末は市内や県外からの人達で賑うといひます。60年前まで村であった古里も今は少しずつ観光リゾート地の様相に近づいていました。東京五輪が開催される2020年には、訪日外国人目標2,000万人のペースが昨年の実績(13,413,600人)

からみても早く達成されそうな状況であります。東北大震災後の2012年から徐々に増加し、観光客増加に向けた政府の政策、様々な関係者の努力(地方自治体、観光業界等)で2014年度は訪日客数も消費額も4期連続で過去最高を更新した事は、当協会の事業活動に取っても嬉しい事であり、又チャンス到来でもあります。中国や東南アジアからの訪日客が買い物の魅力、四季の美しさ、日本文化遺産、建造物、食(和食)文化、温泉地の素晴らしさ、等を求め年々地域の奥まで楽しみや魅力を求め浸透拡大して行く事は間違いのないと思います。

訪日客の増加、国内旅行客の来客増を見込み、全国のホテル、旅館が地方自治体、や観光業界と協調しながらPRし受け入れ態勢、環境整備を始めています。耐震診断、補強、施設の改修、小エネ(エコ、小)を取り入れ効率向上を図り経費削減の努力を始めています。匠の技術集団である当協会の公益、収益事業活動にとっても、会員企業各社のビジネスにとっても27年度はチャンス的一年目としたいと思います。

協会が発信する情報誌「観光施設」、協会だより、ホームページを更に進化させ、官公、自治体、地域観光地からも、コンサル事業を依頼したいと言わせる国際観光施設協会。

会員各社にとって魅力ある国際観光施設協会。未会員の企業が加入したいと思う国際観光施設協会をめざし更なる運営基盤や細部を見直し、魅力ある協会でありたいものです。

## 第43回 2015 国際ホテル・レストラン・ショー 報告

### ホテルズ実行委員会 委員長 浅野一行

2015年 第43回 国際ホテル・レストラン・ショーが2月17日(火)～20日(金)に開催され、昨年より3,200名程多い約54,700名の来場者を得て、盛況裡に終わることができました。

今年の当協会の出展は、昨年の60周年事業の時と同じスタイル、すなわちテーマを掲げてそれに沿った展示とセミナーを行う方法でいこうとスタートしました。総合テーマは、「日本のこころ」。それを受けた4つの個別テーマ「匠のこころ」「木づかいのこころ」「エコ・小のこころ」「旅のこころ」の展示はいづれも力作で、観光業界のこれからを見据えた興味深い内容でした。

ショーの大半を占めるメーカーによる製品紹介のブースにはない、当協会ならではの出展ができたと思います。メイン・ショート計25本のセミナーも同様でした。中央にセンタープラザと称したセミナースペース(休憩コーナーも兼ねる)を設け、それを取り囲むように展示ブースが並ぶ会場レイアウトも大変好評でした。ホテルズ会場全体のオアシスのような場所になりました。

今回の新しい取り組みとしては、トレンドセミナー「ホテル・旅館の開発&デザイン最新潮流」を当協会で開催しました。協会会員が設計した最新ホテル・旅館10施設を、一挙に担当した設計者が自ら紹介するという、大変贅沢なセミナーです。200席の会場は立ち見の来場者で溢れ、来年もリクエストがありそうです。さらに、観光系やまちづくり系の大学との連携も、無限の可能性を秘めた若い力が、会場に新しい風を吹き込んでくれました。観光の未来を語るには、彼ら彼女らとの協同から教わることも多いことを実感しました。

### 建築部会の活動方針とこれからの予定

建築部会長 森 一郎

ミレニアム三井ガーデンホテル・329室・2014年12開業、AMANTOKYO・12室・2014年12開業、ホテルグレイスリー新宿・970室・2015年4開業、その他今年から来年にかけて星のや東京・84室大手町等、50数件のホテル開業が都内に予定されており、観光施設の代表ともいえるホテル業界もやっと活性化の動きが見えてきました。

建築部会ではこのような観光業界の実態を見学会や研修会をとうして会員相互の親睦と研修を目途に活動を行う予定、さらに在来建築部会幹事会を中心に活動してきたがより多くの建築部会員の参加を意図して親睦を趣旨としたサロン建築部会といった拡大幹事会で部会員自身がスピーカーになることを予定しています。

### 設備部会の活動方針とこれからの予定

設備部会長 横山 豊

設備部会は所属する会員の交流と部活動の活性化を図る目的でワーキング・グループ(WG)を開催しています。来年度も今年度同様5回開催する予定です。

又会員の関心のある施設を見学し、会員相互の親睦を深める目的で施設見学会を開催します。今年度2回目の見学会は3月5日に予定しています。又来年度も2回の開催を予定します。ホテルズへの活動も行う予定です。今後の活動は下記を予定しています。

H27.3.5 : 本年度第2回施設見学会

『みらいエコフォームセンター』

H27. 5.11 : 第1回設備部会交流部会開催

H27. 7. 6 : 第2回設備部会交流部会開催

H27. 7.13 : 第1回施設見学会(場所未定)

H27. 9. 7 : 第3回設備部会交流部会開催

H27.11. 2 : 第4回設備部会交流部会開催

H27.11.16 : 第2回施設見学会(場所未定)

H28. 1.25 : 第5回設備部会交流部会開催

インテリア部会の活動状況とこれからの予定  
インテリア部会長 寺本昌志

当部会はインテリア関連企業を中心に、これまで通り四つのグループに活動内容を分け会員の交流と業界トレンド情報の収集を目的に活動を進めていきたいと考えています。『セミナー』グループでは「観光」をテーマに旬な方を招き、年1回100~150人を超える規模のセミナーを開催します。『施設見学』グループでは年2回を目標に話題のホテルを中心として見学会を開きます。『企業見学』グループでは年1回観光産業・インテリア産業に関連した注目企業を紹介します。『新情報発信』グループでは年2回観光関連で“知りたい事、聞きたい事”を題材に研究会を開催します。これら我々の企画するセミナーや見学会に多くの会員企業の皆様が参加し交流の機会を持って頂けるよう励んで行く所存です。

平成27年度通常総会開催日及び会場について  
来る平成27年度通常総会および総会後の交歓会は6月17日渋谷エクセルホテル東急6F プラネットにて開催を予定しています。併せて現在進行中の渋谷駅周辺大規模開発プロジェクトについてのセミナーも併せて計画いたします。

### 新入会員紹介 (入会順)

<p>[メ-カ-] ミサワホーム(株) (代表者)代表取締役 (担当者)ホームイング推進部 部長 竹中 宣雄 沼尻 正和 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 TEL03-3349-8136 FAX03-5381-7843 営業内容：建物及び構造物の部材の製造及び販売、建築・土木等の設計・請負・施工及び監理、不動産の売買・交換・賃貸・仲介</p>
<p>[個人] 花又 昇 オフィス・ハナマタ 代表 〒188-0004 東京都西東京市西原町 4-3-45、8-307 TEL090-3216-6996 FAX042-464-0888</p>

P 第105回ゴルフ会 ご案内 P  
次回ゴルフ会を朝霧ジャンボリーゴルフクラブにて平成27年6月5日(金)~6月6日(土)計画中です。  
日帰り参加も可能。ご多忙中とは思いますが皆様お誘いあわせの上、多数のご参加をお待ちしております。

◎編集後記◎  
協会だよりが100号を迎えました。  
編集担当 金光義和

1995年7月「協会だより」第1号を発行して以来20年が経ち、本号をもちまして第100号となりました。  
協会だより発行のきっかけは、これまで会員のための会報として存在していた「観光施設」を協会の情報誌として、会員以外の方々にも見ていただけるような内容に編集しなおすこととなり、会員のための会報としてこの「協会だより」を発行することとなりました。

会報としての主な役目は、会員の皆様からお預かりした会費がどのように活用され運用されているのか、協会の活動全体についてその計画と成果をご報告することにあります。編集内容の性格上総務委員会が担当することになり現在に至っています。

発行当初は4ページの印刷物としてB5判の両面に印刷し全会員に向けて郵送しました。途中フックスを利用した発送を取り入れ内容はA4判2ページの編集に変わりました。現在は全員メールにてお届けしております。

インターネットによる情報交換の時代となり、ホームページの活用などを含め、会員の皆様へどのように情報をお伝えするのが良いのか、この機会にこの「協会だより」の在り方を研究し皆様のご意見を頂きながら内容の充実を図ってまいりたいと考えております。今後共皆様のご協力をお願いいたします。



「協会だより」  
VOL. 1」  
1995年7月発行